

令和6年度 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業名		下妻公民館維持管理事業					教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	1. 生涯学習、公民館	公民館
	SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに	11	住み続けられるまちづくりを		千代川公民館

1. 事業の概要(Plan)

目的	施設の適切な維持管理により、利用者に安心安全で快適な利用を提供する				
内容	施設の維持管理、補修等の業務				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
	利用者団体		公民館の利用団体数	目標	1,000	1,000	1,000	団体		
				実績	1,552	1,525				
成果指標	指標名		説明			年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
	利用者数		公民館の利用者数	目標	14,500	14,500	14,500	人		
				実績	16,962	17,638				
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費		
事業費(千円)	R4決算額		R5決算額		R6予算額		R7予定額		R8予定額	
総事業費	23,359		22,145		24,862		24,954		24,954	
事業経費	18,015		16,801		19,518		19,610		19,610	
特定財源	2,018		2,108		1,750		1,750		1,750	
従事常勤職員数	0.34		0.34		0.34		0.34		0.34	
従事非常勤職員数	1.20		1.20		1.20		1.20		1.20	
概算人件費	5,344		5,344		5,344		5,344		5,344	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	存続させるか検討中です。
		対象の適切性	適切	対象は施設利用者になるため適正である。
		主体の妥当性	市が推進すべき	公民館の構造・利用者を熟知している市職員が行うべきである。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	予定通りの管理運営ができた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	最小限の予算で運営している。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標を達成できた。	
	手段の妥当性	見直しの余地あり	存続させるか検討中です。	
	事業の方針	継続	庁舎周辺エリアビジョンの基本計画策定時において、下妻公民館のあり方検討する予定です。	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	下妻公民館は、空調等の多くの設備を市民文化会館と共用しており、老朽化が著しいため、不具合の対応が課題となっている。
今後の取組み	老朽化が著しいため、適切な修繕工事が必要である。また、令和2年度から社会福祉協議会及びシルバー人材センターがそれぞれ事務室等で1階を使用しているため、館内の適切な維持管理と整備を実施するよう努める。

令和6年度 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業名	大宝公民館維持管理事業						教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	1. 生涯学習、公民館	公民館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに		11	住み続けられるまちづくりを		千代川公民館

1. 事業の概要(Plan)

目的	施設の適切な維持管理により、利用者に安心安全で快適な利用を提供する。					
内容	施設の維持管理、補修等の業務。					
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	公民館利用者	

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
	利用者団体		公民館の利用団体数	目標	1,000	1,000	1,200	団体		
				実績	1,106	1,204				
成果指標	指標名		説明			年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
	利用者数		公民館の利用者数	目標	14,000	14,000	15,000	人		
				実績	15,499	15,003				
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費		
事業費(千円)	R4決算額		R5決算額		R6予算額		R7予定額		R8予定額	
総事業費	17,229		14,007		15,448		15,448		15,448	
事業経費	13,725		10,503		11,944		11,944		11,944	
特定財源	146		154		145		145		145	
従事常勤職員数	0.34		0.34		0.34		0.34		0.34	
従事非常勤職員数	0.40		0.40		0.40		0.40		0.40	
概算人件費	3,504		3,504		3,504		3,504		3,504	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	集会施設として利用度は高い。
		対象の適切性	適切	体育室は、部活動でも利用している。
		主体の妥当性	アウトソーシング済(一部)	管理の一部・設備の保守点検等は委託した。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	最小限の予算で運営している。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	最小限の予算で運営している。
総合評価	費用対効果	効果あり		最小の経費で指標の目標に近づいた。
	手段の妥当性	見直しの余地あり		管理の一部・設備の保守点検等は委託した。
	事業の方針	継続		現状維持。

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	公民館利用者が施設を快適に利用できるように、限られた予算の範囲内で不良箇所等を随時改善し、良好な環境を維持しなければならない。
今後の取組み	建設してから35年以上が経過し、建物や設備など老朽化が進んでいるため、計画的な修繕が必要である。

令和6年度 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業名	千代川公民館維持管理事業						教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	1. 生涯学習、公民館	公民館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに		11	住み続けられるまちづくりを		千代川公民館

1. 事業の概要(Plan)

目的	施設の適切な維持管理により、利用者に安心安全で快適な利用を提供する					
内容	施設の適切な維持管理により、利用者に安心安全で快適な利用を提供する					
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	公民館利用者	

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
	利用者団体数		公民館の利用団体数			目標	1,000	1,500	1,500	団体
						実績	1,344	1,380		
成果指標	指標名		説明			年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
	利用者数		公民館の利用者数			目標	27,000	35,000	35,000	人
						実績	29,714	29,261		
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費		
事業費(千円)	R4決算額		R5決算額		R6予算額		R7予定額		R8予定額	
総事業費	26,083		103,748		104,035		103,645		42,645	
事業経費	17,924		93,459		93,640		93,250		32,250	
特定財源	793		609		5,000		5,000		5,000	
従事常勤職員数	0.78		1.03		1.05		1.05		1.05	
従事非常勤職員数	0.97		1.07		1.05		1.05		1.05	
概算人件費	8,159		10,289		10,395		10,395		10,395	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	集会施設として利用度は高い。
		対象の適切性	適切	市外から団体利用も多い。
		主体の妥当性	アウトソーシング済(一部)	管理の一部・設備の保守点検等は委託した。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	予定通りの管理運営ができた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	最小限の予算で運営している。
総合評価	費用対効果	効果あり		最小の経費で指標の目標を達成できた
	手段の妥当性	見直しの余地あり		管理の一部・設備の保守点検等は委託した。
	事業の方針	継続		現状維持

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	利用者が施設を快適に利用できるように、限られた予算の範囲内で不良箇所等を随時修繕し、良好な環境を維持をする。
今後の取組み	竣工後約39年が経過し、建物や設備など老朽化が著しい、今後の対応を関係部署との協議、連携を図りながら計画的に改修を実施する。

令和6年度 事務事業評価シート(令和5年度実績)

令和6年度 事務事業評価シート(令和5年度実績)										教育部
事務事業名		市民センター管理事業								公民館
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化		基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ		分野	1. 生涯学習、公民館		千代川公民館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに			11	住み続けられるまちづくりを				

1. 事業の概要(Plan)

目的	施設の適正な維持管理により、利用者に安心安全で快適な利用を提供する。				
内容	施設の維持管理運営、補修等の業務				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
	利用者団体	市民センターの利用団体数			目標	750	1,250	1,200	団体	
					実績	1,227	1,206			
成果指標	指標名		説明			年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
	利用者数	市民センターの利用者数			目標	10,000	18,000	17,000	人	
					実績	17,296	17,805			
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費		
事業費(千円)	R4決算額		R5決算額		R6予算額		R7予定額		R8予定額	
総事業費	24,481		22,161		24,968		23,236		23,236	
事業経費	20,977		17,225		20,032		18,300		18,300	
特定財源	23		20		20		20		20	
従事常勤職員数	0.34		0.48		0.48		0.48		0.48	
従事非常勤職員数	0.40		0.56		0.56		0.56		0.56	
概算人件費	3,504		4,936		4,936		4,936		4,936	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	集会施設として利用度は高い。
		対象の適切性	適切	対象は施設利用者になるため適切である。
		主体の妥当性	アウトソーシング済(一部)	管理の一部を市民センター運営委員会に委託した。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	想定通りのサービスを提供できた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	最小限の予算で運営している。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標に近づけた。	
	手段の妥当性	妥当	管理の一部を市民センター運営委員会に委託した。	
	事業の方針	継続	現状維持で行うべきである。	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	市民センター利用者が施設を快適に利用できるように、限られた予算の範囲内で不良箇所等を随時修繕し、良好な環境を維持をする。
今後の取組み	各市民センターとも、全体的に老朽化が進んでいるため、計画的な修繕工事が必要である。今後の対応を関係部署との協議、連携を図りながら計画的に改修を実施する。

令和6年度 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業名	公民館教室事業						教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	1. 生涯学習、公民館	公民館
SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに		11	住み続けられるまちづくりを		千代川公民館

1. 事業の概要(Plan)

目的	市民のニーズに対応した多彩な講座を開催することで、市民同士が交流を深めるよう活動を支援する。				
内容	心豊かに生きるためのきっかけづくりとして市民が幅広く参加できるよう各種講座を開催する。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
	教室開設数	公民館及び地区館で開設した教室数			目標	37	37	37	教室	
					実績	35				
成果指標	指標名		説明			年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
	教室受講者数	公民館及び地区館の教室受講者数			目標	500	600	600	人	
					実績	519	569			
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費		
事業費(千円)	R4決算額		R5決算額		R6予算額		R7予定額		R8予定額	
総事業費	11,870		12,088		12,477		12,477		12,477	
事業経費	2,696		2,914		3,303		3,303		3,303	
特定財源	260		285		287		300		300	
従事常勤職員数	0.39		0.39		0.39		0.39		0.39	
従事非常勤職員数	2.70		2.70		2.70		2.70		2.70	
概算人件費	9,174		9,174		9,174		9,174		9,174	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	生涯学習の場を提供する講座として、必要性は高い。
		対象の適切性	適切	対象は受講者になるため適切である。
		主体の妥当性	市が推進すべき	市が推進すべきである。
	有効性	指標の実績	おおむね達成できた	申込者少数で開催を中止した教室があったが、受講者数は年々増加傾向にある。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	低コストで教室を実施している。
総合評価	費用対効果	効果あり		最小の経費で目標を達成している。
	手段の妥当性	妥当		市職員が行うのが妥当である。
	事業の方針	継続		現状維持

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	教室によっては、前年度からの継続者が多く、新規受講者が増えにくい傾向にある。同じ教室ばかりではなく、新規の教室も開設し、幅広い年齢層の市民が参加できるよう企画立案していく必要がある。
今後の取組み	新規教室の開講や教室内容の一層の充実を図るとともに、新規受講者の増加を目指す。

令和6年度 事務事業評価シート(令和5年度実績)

事務事業名		公民館まつり事業					教育部
総合計画の体系	目標	2. 教育、文化	基本	2. 生涯学習、文化、スポーツ	分野	1. 生涯学習、公民館	公民館
	SDGs目標	4	質の高い教育をみんなに	11	住み続けられるまちづくりを		千代川公民館

1. 事業の概要(Plan)

目的	公民館や地区館の教室及びクラブの受講生が、活動学習の成果発表を通じて、受講生や地域住民の交流を深める。				
内容	各種教室の発表の場として、ステージ発表・作品展示・体験教室を行う。				
種別	自治事務(任意)	主体	直営	対象・受益者	市民

2. 事業の取組みと費用(Do)

活動指標	指標名		説明			年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
	広報活動		ポスター・お知らせ版・市HP等により広報した回数	目標	1	2	4	回		
				実績	1	6				
成果指標	指標名		説明			年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	単位
	参加人数		発表・展示等の参加人数	目標	300	300	600	人		
				実績	421	708				
予算科目	区分	一般会計	款	10 教育費	項	5 社会教育費	目	2 公民館費		
事業費(千円)	R4決算額		R5決算額		R6予算額		R7予定額		R8予定額	
総事業費	4,090		4,106		4,183		4,183		4,183	
事業経費	112		128		205		205		205	
特定財源	0		0		0		0		0	
従事常勤職員数	0.13		0.13		0.13		0.13		0.13	
従事非常勤職員数	1.30		1.30		1.30		1.30		1.30	
概算人件費	3,978		3,978		3,978		3,978		3,978	

3. 事業の評価、今後の方向性

(1) 事業についての評価(Check)

個別評価	必要性	今後の必要性	必要性は高い	市民のニーズに適した事業である。
		対象の適切性	適切	対象者は事業に沿ったものである。
		主体の妥当性	市が推進すべき	教室受講生等との信頼関係が必要なため、市が主体になるべきである。
	有効性	指標の実績	達成できた	想定していた目標よりも良い環境で実施することができた。
	効率性	コストの削減	削減の余地なし	最低の経費で行っているため、削減の余地はない。
総合評価	費用対効果	効果あり	最小の経費で指標の目標を達成できた。	
	手段の妥当性	見直しの余地あり	開催方法や内容について、検討の余地あり。	
	事業の方針	継続	実施規模や方法について検討する余地あり。	

(2) 事業の方向性(Action)

現状の課題	昨年度は、コロナ禍以前の実施内容から一部を変更して開催したが、今回はコロナ禍以前と同様の規模で開催した。参加団体の希望に沿った成果発表を行うことが出来た反面、職員の負担が大きく、開催までのスケジュールや作業方法については見直しの余地があった。開催内容と併せて、改めて検討が必要であると考え。
今後の取組み	発表を行う団体や来場者が交流を深め、より良い学習の場となる環境を醸成するため、開催内容や職員による運営の方法等について引き続きの検討が必要と思われる。